

玄海原子力発電所周辺の地震観測結果 (2025年度)

2026年9月

九州電力株式会社

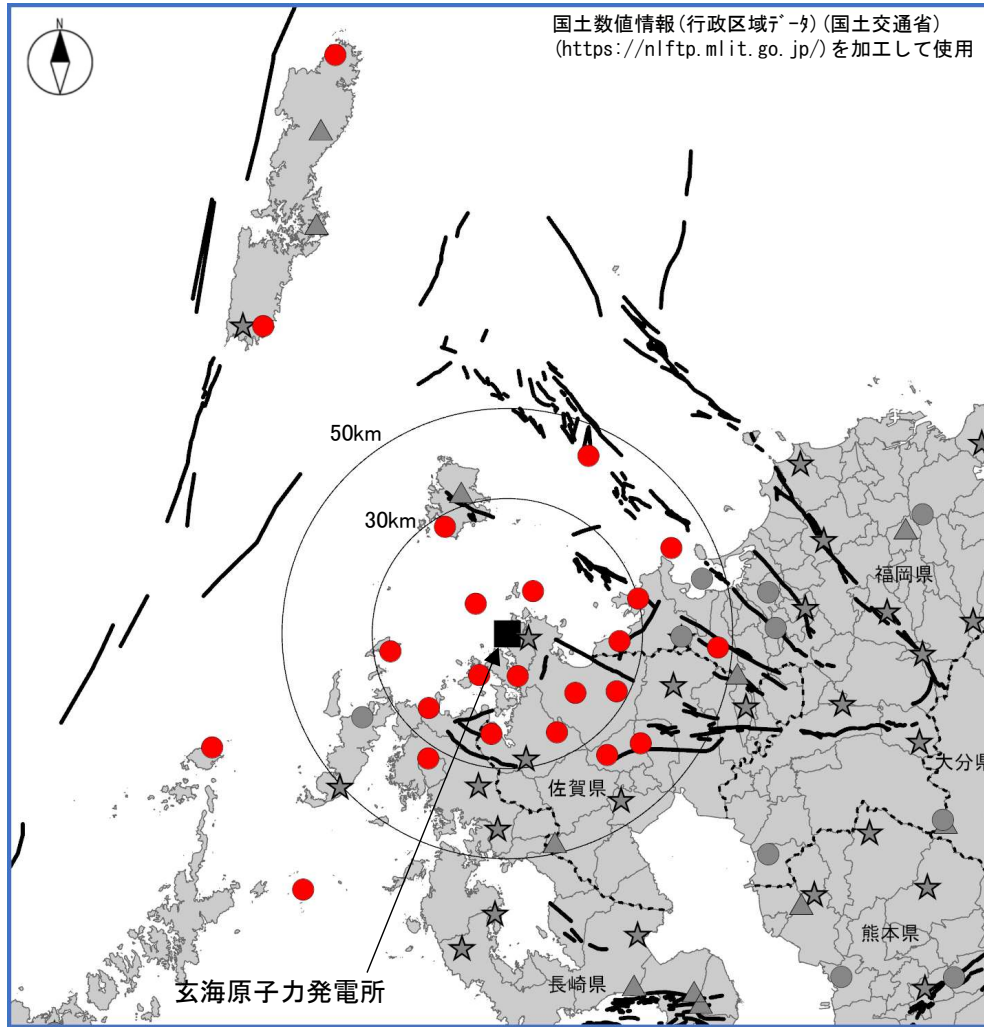
余 白

当社は、更なる安全性・信頼性向上に向けた取組みとして、玄海原子力発電所周辺の地震活動状況をより詳細に把握するため、2018年度に玄海原子力発電所周辺における地震観測体制を強化し、2019年度から地震観測を行っています。

観測結果につきましては、2020年度から、年1回の頻度で、観測した地震の数、規模、位置、過去からの変化などを公表することとしています。



この度、2025年度(2025年4月～2026年3月の1年間)の観測結果について取りまとめましたので、公表いたします。



地震観測点配置図

観測点設置の考え方

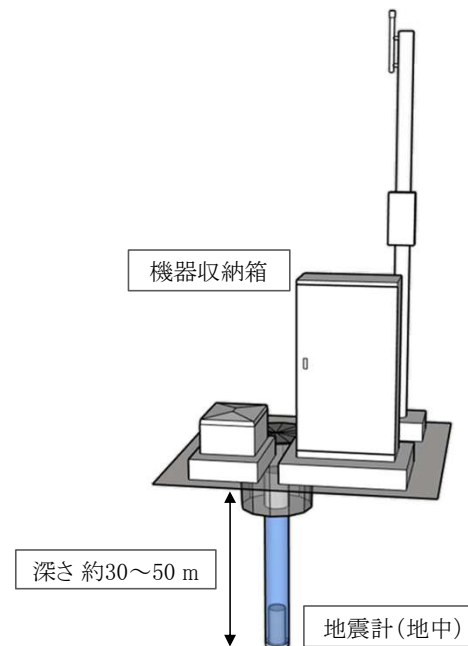
- ・発電所敷地への影響が大きい、発電所から半径30km圏内を対象
- ・10km間隔程度で30km圏内をまんべんなくカバーする配置
- ・30km圏外についても主要な活断層の周囲及びこれまで観測点のなかった離島に配置

凡例

- 玄海原子力発電所
- 九電観測点
- 活断層
- △ 気象庁
- ☆ 防災科学技術研究所
- 大学

当社観測点の観測期間(2025年度)

	観測期間
九電観測点 (23箇所)	2025.4～2026.3



観測点のイメージ図・写真

玄海原子力発電所周辺の地震観測結果

2025年度の地震観測の結果、玄海原子力発電所周辺では、大きな地震が発生しておらず、玄海原子力発電所の安全性に影響を及ぼすような地震活動は認められない。

(1) 2025年度(1年間)の地震活動

- ①発電所近傍(半径10km圏内)では地震が少なく、その他の地域と比較して地震活動は比較的低い。
- ②発電所周辺(半径50km圏内)では大きな地震は発生していない。

(2) 過去(25年間)の地震活動

- ③発電所周辺の地震活動に大きな変化はない。

今後も継続的に観測を行い、玄海原子力発電所周辺の地震活動を注視していく。

余 白

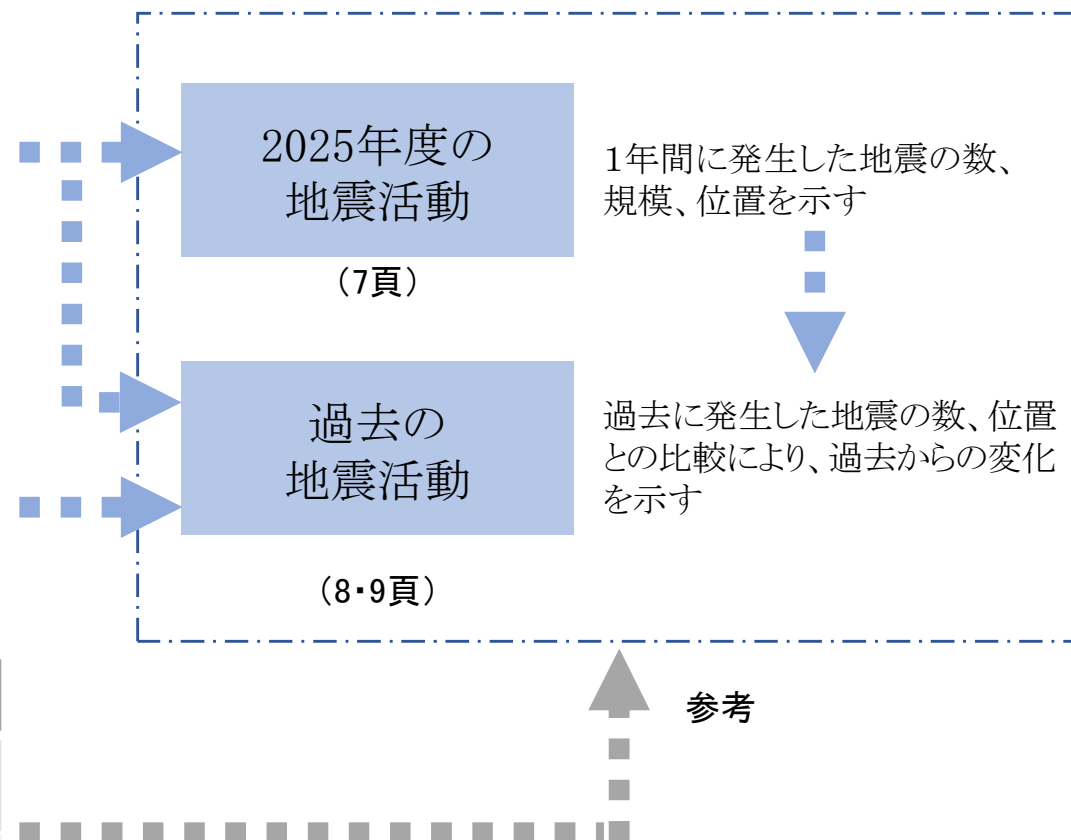
下記の観測データを用い、玄海原子力発電所周辺の地震観測結果を取りまとめました。
(なお、他機関による評価も参考にしています。)

玄海原子力発電所周辺の 地震観測結果

データ	期 間
玄海周辺観測網による 震源データ	2019.4～2026.3 (7年間)

データ	期 間
気象庁 一元化震源データ	2001.4～2026.3 (25年間)

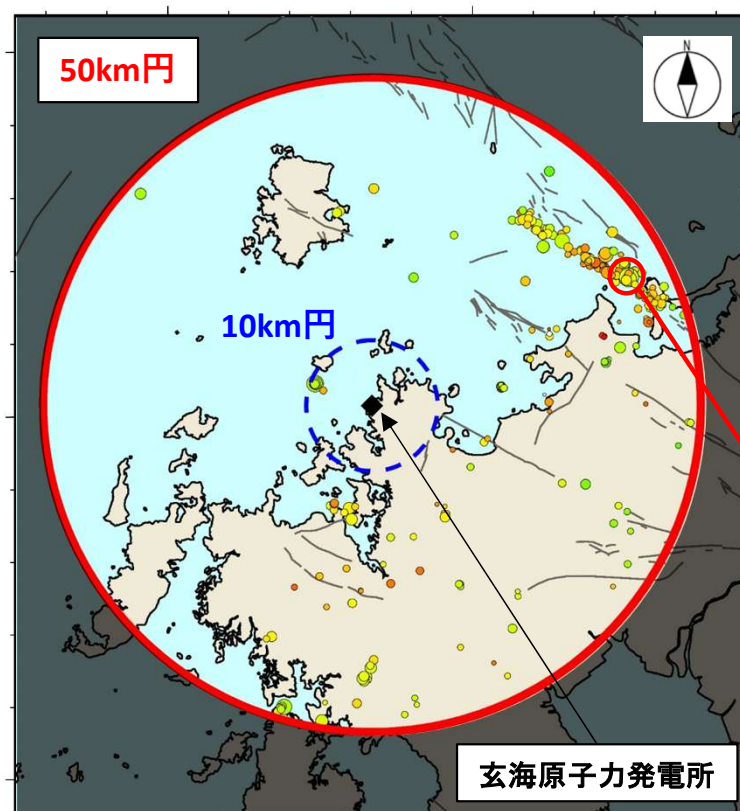
発行機関	資料名
気象庁	地震・火山月報
地震調査研究推進本部	地震活動の評価(月報)



- ① 発電所近傍では、地震が少なく地震活動は比較的低い
- ② 発電所周辺では、大きな地震は発生していない

〔使用データ: 玄海周辺観測網による震源データ〕

- ・玄海原子力発電所近傍(半径10km圏内)では地震が少なく、その他の地域と比較して地震活動は比較的低い。
- ・2025年度に、玄海原子力発電所周辺(半径50km圏内)で発生した地震は、マグニチュードM1.0未満の地震が多く、マグニチュードM3.6 の福岡県西方沖の地震(2026年1月22日)*が最大であり、マグニチュードM6.0～7.0クラスの規模の大きな地震は発生していない。

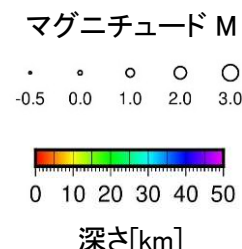


規模別発生数(2025年4月～2026年3月)

M1.0未満	M1.0以上 M2.0未満	M2.0以上 M3.0未満	M3.0以上 M4.0未満	M4.0以上	合計
237 (71.6%)	85 (25.7%)	7 (2.1%)	2 (0.6%)	0 (0.0%)	331

M: マグニチュード

最大の地震:
M3.6 (1/22)



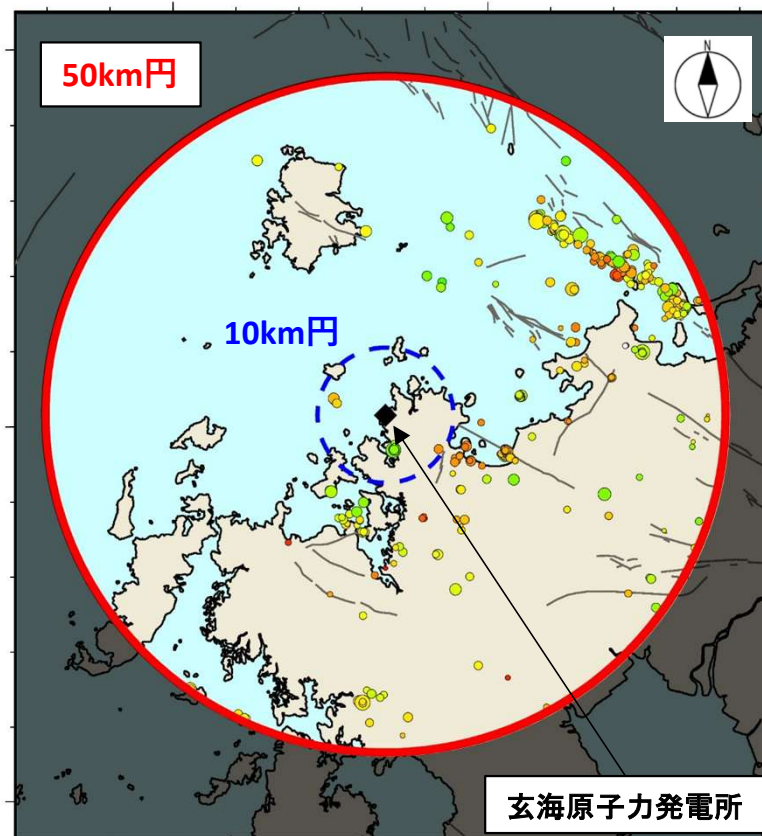
※ 気象庁一元化震源データでは、「福岡県北西沖の地震、マグニチュードMj 3.4」とされている。

なお、地震の規模は、当社地震観測データから決定されたものを「マグニチュードM」、気象庁によって決定されたものを「マグニチュード Mj」として表記。

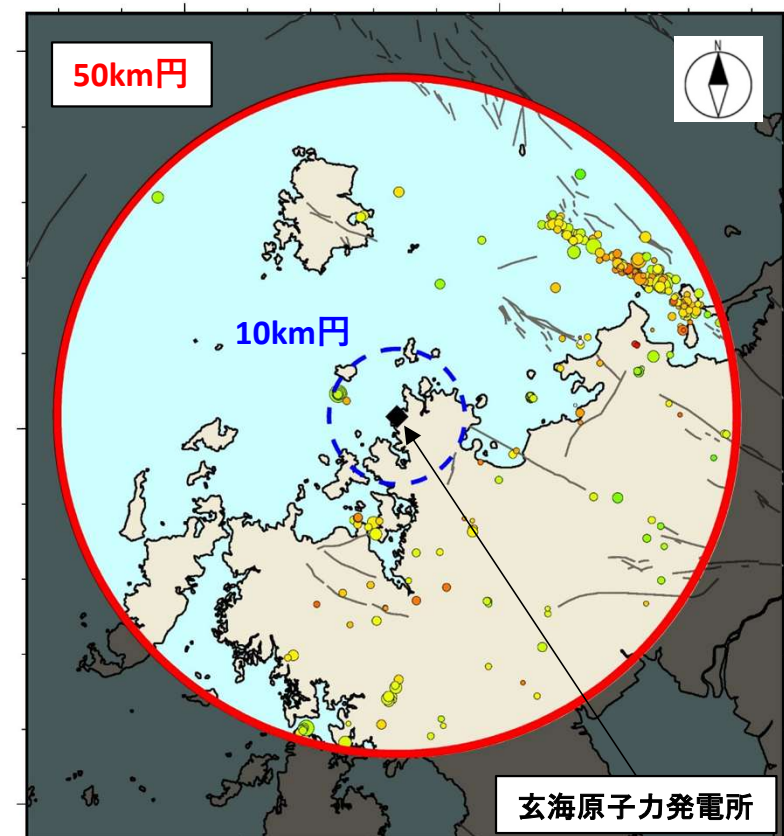
2025年度の震央分布図
(2025年4月～2026年3月)

〔使用データ: 玄海周辺観測網による震源データ〕

- 2024年度と比べて発電所近傍(半径10km圏内)、周辺(半径50km圏内)共に、地震発生位置、地震発生数に大きな変化は見られない。



2024年度の震央分布図
(2024年4月～2025年3月)

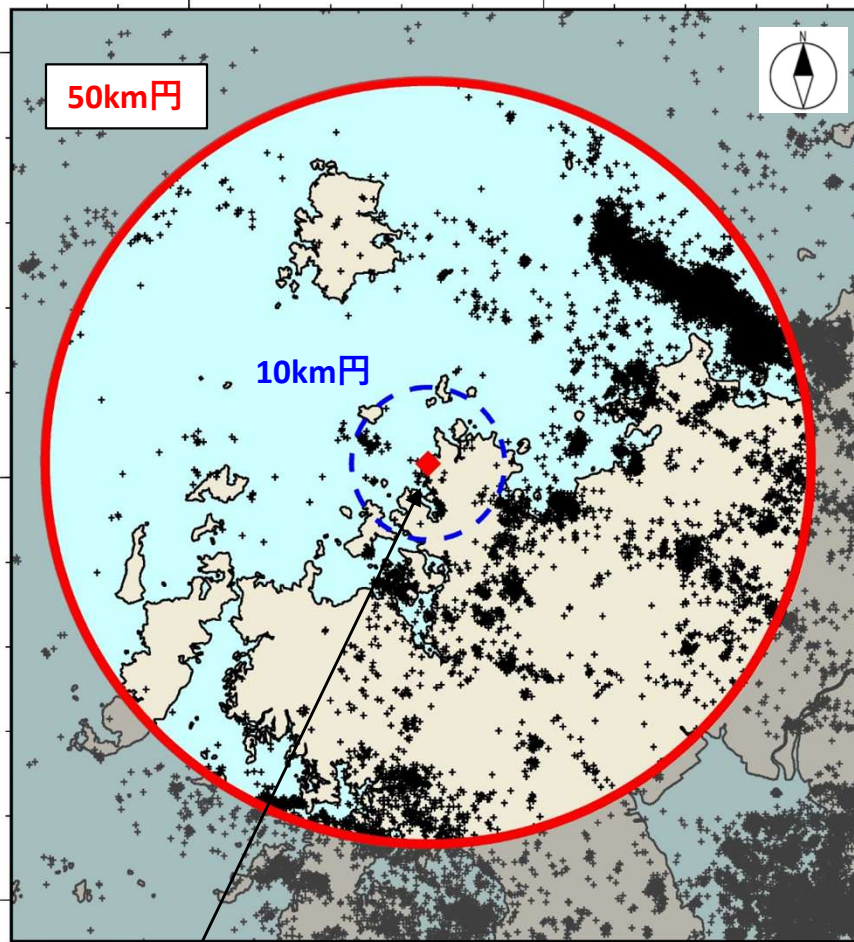


2025年度の震央分布図
(2025年4月～2026年3月)

③ 発電所周辺の地震活動は、大きな変化はない

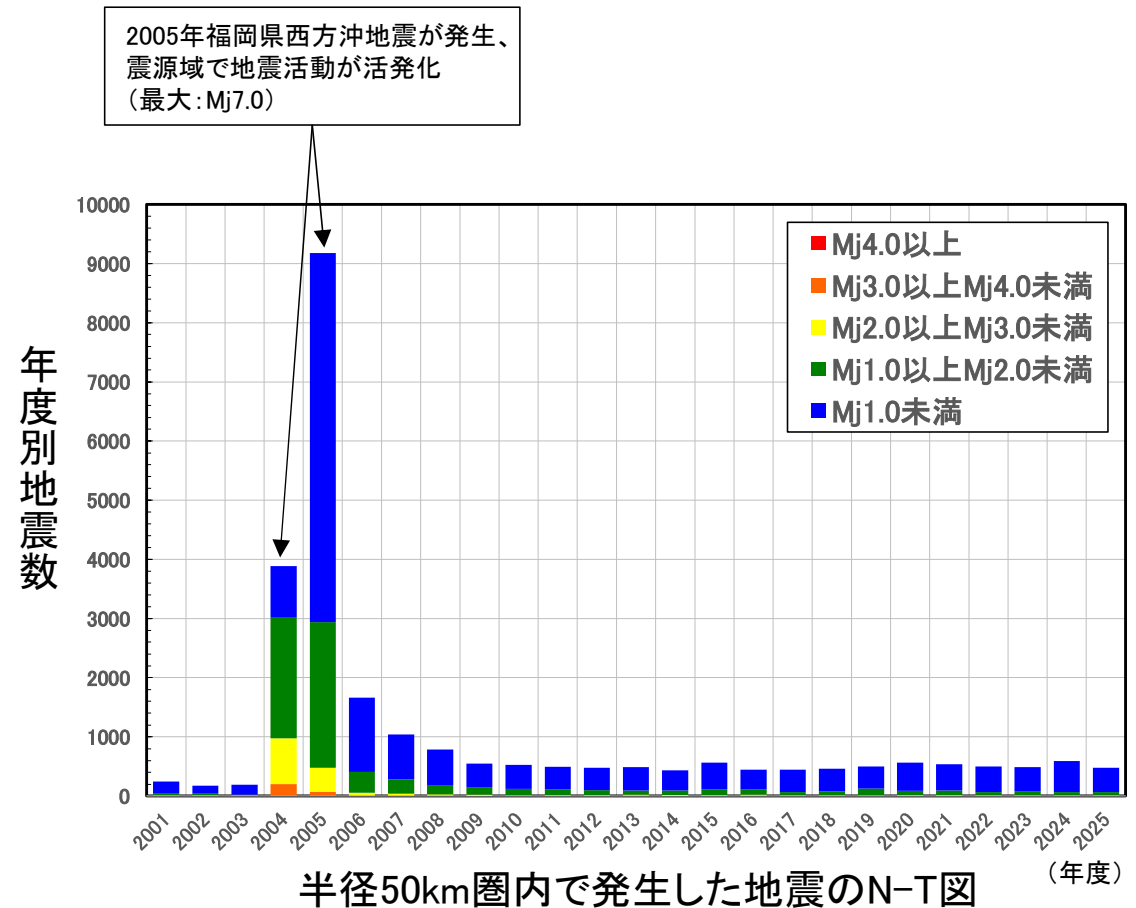
〔使用データ: 気象庁一元化震源データ〕

- ・過去(25年間)の地震活動を見ると、2005年福岡県西方沖地震の余震活動は続いているが、近年の地震発生数、地震規模に大きな変化はない。



玄海原子力発電所

過去25年間の震央分布図
(2001年4月～2026年3月)



他機関による地震活動の評価(2025年4月～2026年3月)

- ・気象庁及び地震調査研究推進本部による九州地方の地震活動の評価は以下の通り。

	気象庁・地震調査研究推進本部による評価
2025. 4	2日に大隅半島東方沖の深さ約35kmでMj6. 1の地震が発生。9日に与那国島近海の深さ約120kmでMj5. 4の地震が発生。18日に大分県中部で地震活動が一時的に活発になり、Mj3. 7の地震が発生。
2025. 5	目立った活動はなかった。
2025. 6	トカラ列島近海（小宝島付近）で震度1以上を観測した地震が698回発生。
2025. 7	3日にトカラ列島近海（小宝島付近）の深さ約10kmでMj5. 5の地震が発生。8日にトカラ列島近海（諏訪之瀬島付近）で地震活動が一時的に活発になり、Mj4. 1の地震が発生。25日に長崎県南西部の深さ約10kmでMj4. 8の地震が発生。
2025. 8	トカラ列島近海（小宝島付近）で震度1以上を観測した地震が66回発生。トカラ列島近海（諏訪之瀬島付近）で震度1以上を観測した地震が34回発生。7日に大分県西部の深さ2kmでMj4. 8の地震が発生。17日に日向灘の深さ29kmでMj5. 7の地震が発生。
2025. 9	トカラ列島近海（小宝島付近）で震度1以上を観測した地震が42回発生。トカラ列島近海（諏訪之瀬島付近）で震度1以上を観測した地震が118回発生。13日にトカラ列島近海（口之島・中之島付近）でMj4. 5の地震が発生。
2025. 10	トカラ列島近海（小宝島付近）で震度1以上を観測した地震が37回発生。トカラ列島近海（諏訪之瀬島付近）で震度1以上を観測した地震が14回発生。
2025. 11	トカラ列島近海（小宝島付近）で震度1以上を観測した地震が12回発生。3日に鹿児島県薩摩地方のごく浅い場所でMj3. 3の地震が発生。25日に熊本県阿蘇地方の深さ約10kmでMj5. 8の地震が発生。
2025. 12	トカラ列島近海（小宝島付近）で震度1以上を観測した地震が10回発生。トカラ列島近海（諏訪之瀬島付近）で震度1以上を観測した地震が10回発生。熊本県阿蘇地方で震度1以上を観測した地震が14回発生。30日に奄美大島近海の深さ約20kmでMj5. 7の地震が発生。
2026. 1	目立った活動はなかった。
2026. 2	5日に奄美大島北東沖でMj5. 5の地震が発生。
2026. 3	1日に薩摩半島西方沖の深さ約120kmでMj5. 4の地震が発生。15日、21日に熊本県天草・芦北地方のそれぞれ深さ約5km、10kmでMj3. 9、Mj3. 5の地震が発生。2月26日から宮古島北西沖で地震活動が活発となり、3月31日までに震度1以上を観測した地震が32回発生。

令和8年熊本地震の当社原子力発電所への影響

- ・2026年7月28日16時27分頃に熊本県熊本地方を震源地とするマグニチュードMj7. 1、最大震度7の地震が発生し、川内原子力発電所では震度4、玄海原子力発電所では震度2を観測しました。その時の揺れ（岩盤上で、川内：約22. 9ガル、玄海：約6. 9ガル）は、発電所の耐震設計の基となる基準地震動を大きく下回っており、川内原子力発電所及び玄海原子力発電所に影響はありませんでした。